

N=[全体=100][院内感染症対策の専門職員がいる=12][院内感染症対策の専門職員はいない=85][無回答=3]

図48. 「抗菌薬・消毒薬」について記載すべき事項（専門職職員の有無別）（複数回答）

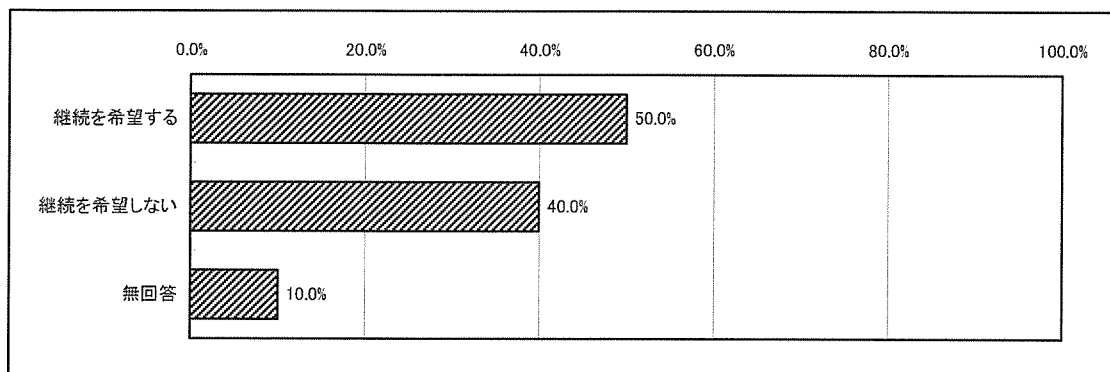
3-7-4. 「その他」と自由記入

表16. 「抗菌薬・消毒薬」について記載すべき事項（「その他」と自由記入）

区分	回答者	回答内容
その他の内容	行政機関 1	消毒薬の具体的な使い方
	行政機関 2	院内感染対策に上記いずれの情報が有効であるかの情報
自由記入の内容	行政機関 1	病院監視を所管していないため、院内感染発生時の対応経験がなく回答出来ない。
	行政機関 2	上記はとりあえず 1、2 と回答したが、3～5 も同様に重要。
	行政機関 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 に関しては必要がある病棟や診療科とそうでないところがあると思うので、その指針が欲しい。 ・ 消毒薬の容器詰め替えやアルコール噴霧、アルコール綿の適切な使用方法（容器を含む）等に関する根拠を持った指導指針が欲しい。

4. アンケート調査に基づく行政支援の継続希望

アンケート調査に基づく行政支援の継続希望をみると、「継続を希望する」が50.0%（50件）、「継続を希望しない」が40.0%（40件）であった。

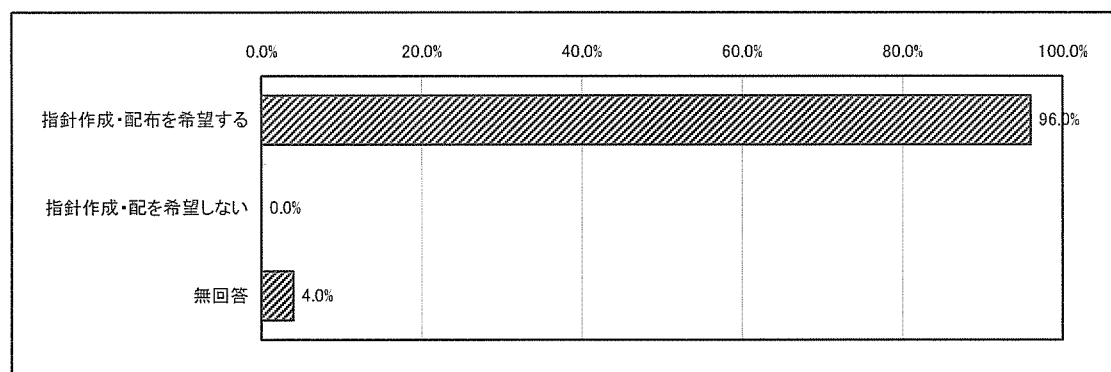


N = 100

図49. アンケート調査に基づく行政支援の継続希望（単数回答）

5. 地方行政機関や保健所のための院内感染対策の指針の作成希望

地方行政機関や保健所のための院内感染対策の指針の作成希望をみると、「指針作成・配布を希望する」が96.0%（96件）、「指針作成・配布を希望しない」が0.0%（件）であった。



N = 100

図50. 地方行政機関や保健所のための院内感染対策の指針の作成希望（単数回答）

6. 行政機関における院内感染対策に関する問題点・課題、ご意見

9割以上の行政機関が、院内感染対策に関するマニュアルの作成・配布を希望している。

表17. 行政機関における院内感染対策に関する問題点・課題、ご意見

回答者	回答内容
行政機関 1	有床・無床診療所向けの院内感染対策マニュアルでモデル的なものとして手渡せる資料が必要である。中には、パソコン・インターネットを使用していない診療所があるので。
行政機関 2	本県においては、感染力が強く集団感染しやすいノロウイルスを想定した「院内集団感染対応マニュアル」を作成し、医療機関で集団感染した場合に保健所が対応する手順等を示しているが、院内感染の原因菌は多様であることから、どこまで保健所が関与できるのか不安がある。国において、保健所が院内感染に対応する際のマニュアルなどの整備をお願いしたい。
行政機関 3	本県では院内感染対策ネットワーク事業を実施している。本事業の主たる対象である中小病院、高齢者施設への更なるアプローチが重要と考えている。
行政機関 4	当所の医療監視担当部署において、院内感染対策の専門職員がいないため、医療機関からの相談又は医療機関への指導、非常時の対応等について、医学的根拠に基づく具体的な対応が困難であることから、日常及び非常時において保健所から相談可能な専門機関の設置を強く望みます。
行政機関 5	当課では現在、福祉保健センターから報告を受け、相談に応じ、必要時立入検査に同行する等の役割をとっている。次年度以降組織の再編があり、本アンケートで問われているような業務を当課で実施していくようになる。改善指導を実施する場面では、「根拠」を明確にする必要があり、院内感染対策の指針にも重み付けが求められると思う。
行政機関 6	東京都と特別区の役割分担として、病院の管理対応は都、診療所の管理対応は特別区となっている。感染症という切り口では主体は特別区だが実際の院内感染発生時には都と区の両者が連携して調査に入ることがほとんどである。区の検査体制や区職員の専門性という点では弱い面もあり都に頼らざるを得ないこともあるが、時には区が都のやり方に振り回されることがある。
行政機関 7	行政が医療機関に対し指導をおこなうためには、マニュアルの作成は参考になるとと思われるが、法に基づく細かな規定が必要であるとおもわれる。
行政機関 8	厚生労働省等が主催する院内感染対策講習会に自治体職員（保健所職員を含む。）も参加しやすい研修を企画してほしい。
行政機関 9	院内感染防止対策に関わる保健所担当者への教育及び情報提供体制を整備していただきたい。また、この事案につき、相談できる窓口又は機関の設置をお願いしたい。
行政機関 10	院内感染発生時の行政への報告基準、行政における公開基準、病院に対する処分基準等の明確化が望まれる。
行政機関 11	院内感染対策は基本的には、全国共通の指針に基づいて各医療機関が自ら管理すべきものであり、自治体はごく一部をチェックしているに過ぎません。このことを行政側も各医療機関も、もっと自覚する必要があるのではないのでしょうか。
行政機関 12	院内感染対策のための、専門職員を当て、必要な分野を専門的に研修させて取組んだ方が良いのではないかと。
行政機関 13	院内感染対策に関する、専門的な知識を持った職員がいない。医療機関の院内感染対策を監視するにしても、医療監視は院内感染に対しては指針や研修記録を確認する程度となっています。院内巡視時の検査項目を具体的に示して欲しい。
行政機関 14	院内感染専門の検査員とは何を指すのか定義が不明であるが、本市にはいない（感染予防を所管する課はあるが、院内専門ではない）。医療監視業務として、毎年70～80か所の病院・診療所・老健などの立入検査を実施しているが、現状においても検査項目が多めであり、1項目にかけられる時間は限られている。立入検査時にこれ以上の項目数が増加すると、人的にも時間的にも対応が困難となるため、効率的・効果的な検査項目に絞り、他の検査項目とのバランスに留意いただきたい。
行政機関 15	院内感染という耐性菌ばかり目が向けられていますが、ノロウイルス対策などの方法もわかる指針を提示いただきたい。立入検査時のチェックポイントなど、誰がみてもわかりやすいマニュアル（平常時、有事）が欲しい。（立入職員が専門的でないケースもある。）
行政機関 16	一般的に、医療法25条に基づく立入検査は、厚生労働省から実施要綱が示され、各自治体の事情により項目を追加して実施されています。本県では、これまでは、院内感染対策マニュアル及び院内感染対策委員会の整備状況とその運用状況を確認する内容となっています。基本的な考え方としては、各病院がそれぞれ自分のところに合った内容でマニュアルや体制を整備していただき、実際にそのとおりに運用されているかという視点であり、マニュアルの内容については関与していないのが実態だと思います。行政から見ますと病院の従事者は感染予防対策の専門家であり、マニュアル等具体的な対策は病院自らが作成していただき、行政はそれらが実際に適切に実施されているかという視点でチェックしています。各病院の医療安全管理者等が自院の安全対策、院内感染防止対策などを検討する際に必要な最新の知見に基づく情報・資料が容易に入手できるようなシステムがあればと思います。必要な場合は行政も利用できればと考えます。
行政機関 17	医療監視において、院内感染対策を専門的にみることでできる者の確保が困難である。

行政機関 18	医師等の専門職種が少ない保健行政部門で、しかも最新の臨床事情に疎いところで、実際の問題点の把握と適切な指導ができるかは疑問の残るところ。しかし今までの例からは基本的な感染対策に問題がある場合がほとんどと思われる。自治体病院の臨床部門からの応援が望まれるが時間的な余裕がないことから困難。当市でも行っている院内感染地域ネットワークの活性化と、成果の各病院への還元が現実的かと思う。
行政機関 19	とにかく人員が足りない。人口 40 万に対して医務担当は 2 名、地方都市での中核市ではその県内で病院診療所が 1 番多く存在し、日常業務や突発的に出される調査(アスベスト使用実態調査、産科における助産師実態調査等)に日々追われているのが現状である。
行政機関 20	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第 3 条に国及び地方公共団体の責務が掲げられ、また、医師の責務は第 5 条にあるが、院内感染は第 5 条を受けるものと思われる。実際の院内感染に関して日々進歩する病院内の事項について保健所が研修会を行うことは、困難と思われる。

第2部 資料編

I. アンケート調査依頼状

平成18年12月12日

院内感染対策担当者 殿

平成18年度厚生労働科学研究費補助金（医療安全・医療技術評価総合研究事業）
「医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証」に関する研究班
主任研究者 武澤 純

地方行政機関の院内感染対策に関するアンケート調査の依頼について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成18年度厚生労働科学研究費補助金（医療安全・医療技術評価総合研究事業）
「医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証」に関する研究班では、医療法の改正に伴い院内感染対策が今後は地方行政機関が中心となって実施されることになったことを受けて、現時点での院内感染対策に関する行政上の課題の把握とその解決策の提案を行うためのアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

つきましては、同封のCD-ROM内の調査票ファイルに必要事項をご入力の上、平成18年12月25日までに、下記提出先まで、電子メール（添付ファイル）でご返送頂きますよう、お願い申し上げます。

なお、調査結果は厚生労働科学研究報告書となって開示されますが、各行政機関の名前はすべて匿名といたします。また、本研究班では今回のアンケート調査の結果に基づき、院内感染対策に関する地方行政的観点からのガイドラインの作成を予定しておりますので、重ねてご協力をお願い申し上げます。本調査のご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先まで電子メールにてご連絡いただければと存じます。

敬具

－ 記 －

1. 調査実施機関

平成18年度厚生労働科学研究費補助金（医療安全・医療技術評価総合研究事業）
「医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証」に関する研究班
主任研究者 武澤 純（名古屋大学医学系研究科大学院教授）

2. 調査票提出先・問い合わせ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 情報・産業研究部
地方行政機関の院内感染対策に関するアンケート調査担当 村井、柏野
調査票提出先電子メール：strategy@murc.jp

以上

II. アンケート調査票

平成18年12月12日

平成18年度厚生労働科学研究費補助金(医療安全・医療技術評価総合研究事業)
「医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証」に関する研究
地方行政機関の院内感染対策に関するアンケート調査 調査票

【ご回答いただくにあたって】

1. すべての質問にご回答ください。
2. 「あてはまるもの1つ」や「あてはまるもの3つまで」などの指示に従って、ご回答ください。
3. 特に断りのない場合、平成18年10月1日現在の状況でご回答ください。
4. 「その他」を選択されたときには、その他の内容をできるだけ具体的にご記入ください。
5. 「問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント」欄を、できるだけ活用いただき、院内感染対策実施上の問題点や課題について、できるだけ具体的にご記入ください。
6. 右肩に整理番号(例: (*1))があるものについては補足説明資料がございます。意味がご不明な場合は、別紙「用語集」シートをご参照ください。
7. 平成18年12月26日17:00までに、strategy@murc.jpまで、メールでご提出ください。

1. 貴自治体についてお伺いします。

区分	NO	設問	回答欄
機関種別・名称	1	貴自治体の種別をご記入ください(あてはまるもの1つに○)	<input type="radio"/> 1. 都道府県 <input type="radio"/> 2. 特別区 <input type="radio"/> 3. 政令市 <input type="radio"/> 4. 中核市 <input type="radio"/> 5. 保健所政令市
	2	貴自治体名をご記入ください	貴自治体名: _____
地域人口	3	貴自治体の人口をご記入ください (2006年10月1日現在) ※2005年10月1日現在の値ではない場合は時点を記入	総人口 [人] _____ [人] (年 月 日現在)
	4	貴自治体の医療機関の施設数をご記入ください	病院 [施設] _____ [施設] (年 月 日現在)
医療機関数	5	(2005年10月1日現在) ※2005年10月1日現在の値ではない場合は時点を記入	有床診療所(20床未満) [施設] _____ [施設] (年 月 日現在)
	6		老人保健施設 [施設] _____ [施設] (年 月 日現在)
院内感染対策の担当部署・担当者	7	院内感染対策の担当部署の名称をご記入ください	院内感染症対策の担当部署 _____
	8	医療監視の担当部署には、院内感染対策の専門職員がいらっしゃいますか。	<input type="radio"/> 1. 院内感染症対策の専門職員がいる <input type="radio"/> 2. 院内感染症対策の専門職員はいない

2. 院内感染対策の実施にあたっての課題についてお伺いがいたします。

それぞれの質問の選択肢をご覧ください、貴自治体が困難を強く感じられている項目をご回答ください。

【回答例】

区分	NO	質問文	回答欄
院内感染対策の実施にあたっての課題	##	貴自治体職員または医療機関を所管している保健所の職員が、医療機関の職員を対象とした院内感染対策に関する教育・研修を実施するにあたって、困難を感じられている項目をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目3つまで)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. カリキュラムの作成(講演・講習・研修) <input type="checkbox"/> 2. 講師の人選 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 研修・教育の対象職種の設定 <input type="checkbox"/> 4. 研修・教育実施のための予算の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 関連学会・研究会や団体などと連携・調整した教育・研修の開催 <input type="checkbox"/> 6. その他 具体的に→ (○○○○○○○)

区分	NO	質問文	回答欄
院内感染対策の実施にあたっての課題	9	貴自治体職員または医療機関を所管している保健所の職員が、医療機関の職員を対象とした院内感染対策に関する教育・研修を実施するにあたって、困難を感じられている項目をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目3つまで)	<input type="checkbox"/> 1. カリキュラムの作成(講演・講習・研修) <input type="checkbox"/> 2. 講師の人選 <input type="checkbox"/> 3. 研修・教育の対象職種を選定 <input type="checkbox"/> 4. 研修・教育実施のための予算の確保 <input type="checkbox"/> 5. 関連学会・研究会や団体などと連携・調整した教育・研修の開催 <input type="checkbox"/> 6. その他 具体的に→ { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	10	院内感染症に関するアウトブレイク ^{(*)1} 発生時の対応について、貴自治体または保健所がとくに困難を感じられている項目をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目3つまで)	<input type="checkbox"/> 1. 医療機関からの相談に応じられる専門家の確保 <input type="checkbox"/> 2. 行政官や保健所職員からの相談に応じられる専門家の確保 <input type="checkbox"/> 3. 医療機関による内部調査委員会設置に関する指導・支援(人数、専門性、職種) <input type="checkbox"/> 4. 医療機関による外部調査委員会 ^{(*)2} 設置に関する指導・支援(人数、専門性、職種) <input type="checkbox"/> 5. 遺伝子解析 ^{(*)3} など、疫学調査の依頼先(大学、基幹病院、FETP ^{(*)4})の紹介 <input type="checkbox"/> 6. アウトブレイク対応のための費用の確保(自治体負担分) <input type="checkbox"/> 7. その他 具体的に→ { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	11	医療機関の院内感染対策支援のために、貴自治体または保健所が医療機関から情報収集しようとする際に、収集が困難な情報をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目4つまで)	<input type="checkbox"/> 1. 院内感染発生患者数 <input type="checkbox"/> 2. 院内感染によると思われる死亡患者数および後遺症や障害を伴う患者数 <input type="checkbox"/> 3. 院内感染の起炎菌 <input type="checkbox"/> 4. 年間に使用された抗菌薬の種類・量 <input type="checkbox"/> 5. 年間に使用された消毒薬の種類・量 <input type="checkbox"/> 6. 院内感染対策に関する院内マニュアルの有無とその改定頻度 <input type="checkbox"/> 7. 院内感染対策のための委員会の構成員とその出席頻度 <input type="checkbox"/> 8. 院内感染対策に関する講演会・講習会の開催頻度と出席者数 <input type="checkbox"/> 9. その他 具体的に→ { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	12	定例的な立ち入り検査(医療監視 ^{(*)5})における院内感染対策について、貴自治体または保健所がとくに困難を感じられている項目をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目3つまで)	<input type="checkbox"/> 1. 立入検査項目の設定 <input type="checkbox"/> 2. 立入検査の頻度・時期の設定 <input type="checkbox"/> 3. 立入検査の実施期間の設定 <input type="checkbox"/> 4. 立入検査の実施体制(人数、専門性、職種) <input type="checkbox"/> 5. 立入検査の対象となる院内施設・エリアの選択 <input type="checkbox"/> 6. 立ち入り検査後の評価基準の作成(再立入や改善状況確認のための検査が必要なかな等) <input type="checkbox"/> 7. その他 具体的に→ { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	13	院内感染対策のための行政処分について、貴自治体または保健所がとくに困難を感じられている項目をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目2つまで)	<input type="checkbox"/> 1. 病院閉鎖の基準の作成 <input type="checkbox"/> 2. 病棟閉鎖の基準の作成 <input type="checkbox"/> 3. 手術中止の基準の作成 <input type="checkbox"/> 4. その他 具体的に→ { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	14	院内感染対策実施における厚生労働省・自治体・保健所の役割の分担項目について、貴自治体または保健所がとくに困難を感じられている項目をご回答ください。 (とくに困難を感じる項目3つまで)	<input type="checkbox"/> 1. 定期的な立入検査 <input type="checkbox"/> 2. 講習会、講演会、研修会の開催 <input type="checkbox"/> 3. アウトブレイク発生時の立入調査 <input type="checkbox"/> 4. アウトブレイク発生時の改善命令・指導 <input type="checkbox"/> 5. アウトブレイク対策後の改善評価 <input type="checkbox"/> 6. その他 具体的に→ { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】

3. 院内感染症対策担当行政官が院内感染に適切に対応する際に、指針・マニュアルに記載されるほうが良いと思われる項目についてお伺いします。それぞれの質問の選択肢をご覧ください、とくに指針・マニュアルに記載されていたほうが良いと考える項目をご回答ください。

区分	NO	質問文	回答欄
院内感染症対策専門行政官が把握しておくべき基礎知識	15	<p>「院内感染対策に関する政策」について、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目4つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. 医療安全政策上の院内感染対策の位置づけに関する情報 <input type="checkbox"/> 2. 医療の質からみた院内感染対策の位置づけに関する情報 <input type="checkbox"/> 3. 医療費抑制政策上の院内感染対策の位置づけに関する情報 <input type="checkbox"/> 4. 改正医療法における院内感染の情報開示に関する情報 <input type="checkbox"/> 5. 院内感染対策地域ネットワーク(*7)モデル事業に関する情報 <input type="checkbox"/> 6. 院内感染による社会的負担(*8)に関する情報 <input type="checkbox"/> 7. DPC(*9)における院内感染対策の評価に関する情報 <input type="checkbox"/> 8. その他 具体的にー() 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	16	<p>「院内感染症」について、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目3つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. 保菌、感染、感染症の違いに関する情報 <input type="checkbox"/> 2. 感染と院内感染との違いに関する情報 <input type="checkbox"/> 3. 感性菌と耐性菌との違いに関する情報 <input type="checkbox"/> 4. 抗菌薬と耐性菌との関係に関する情報 <input type="checkbox"/> 5. 問題となる多剤耐性菌(MRSA(*10)、MDRP(*11)、VRE(*12)など)に関する情報 <input type="checkbox"/> 6. 環境菌と院内感染(セラチア、パルルスなど)に関する情報 <input type="checkbox"/> 7. その他 具体的にー() 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	17	<p>「院内感染対策と病院マネジメント」について、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目3つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. リスク管理(*13)とクライシス管理(*14)に関する情報 <input type="checkbox"/> 2. 院内感染対策へのTQM(*15)の活用に関する情報 <input type="checkbox"/> 3. 院内感染対策のための委員会、ICD(*16)、ICN(*17)、ICT(*18)を機能させるための方策に関する情報 <input type="checkbox"/> 4. ガイドラインを遵守させるための方策に関する情報 <input type="checkbox"/> 5. 病院経営への影響(予防費用、アウトブレイク対策費用)に関する情報 <input type="checkbox"/> 6. その他 具体的にー() 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	18	<p>「地域における院内感染対策システム」の構築にあたって、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目3つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. 院内感染報告システムの構築 <input type="checkbox"/> 2. 院内感染警告システムの構築 <input type="checkbox"/> 3. 院内感染事例の要因分析の支援体制の構築 <input type="checkbox"/> 4. 院内感染対策の改善支援体制の構築 <input type="checkbox"/> 5. アウトブレイク発生時の地域医療機関への情報共有と注意喚起 <input type="checkbox"/> 6. 地域住民への情報提供と啓発 <input type="checkbox"/> 7. その他 具体的にー() 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
	19	<p>「衛生管理(医療器材・薬剤)」について、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目3つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. 無菌調製を必要とする薬剤、輸液の種類に関する情報 <input type="checkbox"/> 2. 脂肪製剤に関する情報 <input type="checkbox"/> 3. 末梢から投与されるアミノ酸製剤に関する情報 <input type="checkbox"/> 4. 輸液フィルターに関する情報 <input type="checkbox"/> 5. 針なしインジェクター(三方活栓)に関する情報 <input type="checkbox"/> 6. 導尿カテーテル、尿量計の衛生管理に関する情報 <input type="checkbox"/> 7. その他 具体的にー() 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】

20	<p>「衛生管理(環境衛生)」について、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目4つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. 標準予防策に関する情報 <input type="checkbox"/> 2. 感染経路別予防策に関する情報 <input type="checkbox"/> 3. 中枢ルートと末梢ルートの適用とリスクに関する情報 <input type="checkbox"/> 4. 個室管理、集団隔離に関する情報 <input type="checkbox"/> 5. 手洗い実行率の向上に関する情報(手指消毒剤の使用を含む) <input type="checkbox"/> 6. 院内清掃業務に関する情報 <input type="checkbox"/> 7. 経静脈栄養と経腸栄養の適用とリスクに関する情報 <input type="checkbox"/> 8. 栄養管理支援チーム(*19)の適応に関する情報 <input type="checkbox"/> 9. その他 具体的にー { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】
21	<p>「抗菌薬・消毒薬」について、院内感染対策担当行政官が用いる指針・マニュアルに記載されることが望ましい項目として、重要性が高いと考えられるものをご回答ください。</p> <p>(とくにマニュアルに記載されていたほうが良い項目2つまで)</p>	<input type="checkbox"/> 1. 術前、術後の抗菌薬の予防投与に関する情報 <input type="checkbox"/> 2. 消毒薬によって死滅する微生物・生き残る微生物に関する情報 <input type="checkbox"/> 3. 消毒薬と芽胞菌(*20)に関する情報 <input type="checkbox"/> 4. 抗菌薬の届出制と許可制(*21)に関する情報 <input type="checkbox"/> 5. その他 具体的にー { 【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】

4. その他、自治体における院内感染症対策に関する問題点・課題、ご意見

区分	NO	質問文	回答欄
調査の継続意向	22	<p>このような、アンケート調査に基づく行政支援の継続を今後も希望されますか。 (あてはまるもの1つにチェック)</p>	<input checked="" type="radio"/> 1. アンケート調査の継続を希望する <input type="radio"/> 2. アンケート調査の継続は希望しない
指針の整備意向	23	<p>地方行政機関や保健所のための院内感染対策の指針の作成・配布を希望されますか。 (あてはまるもの1つにチェック)</p>	<input type="radio"/> 1. 指針の作成・配布を希望する <input type="radio"/> 2. 指針の作成・配布は希望しない
自治体における院内感染症対策に関する問題点・課題、意見など	24	<p>その他、自治体における院内感染対策に関する問題点・課題、ご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。</p>	【問題点・課題、ご意見・ご要望などのコメント】

5. ご回答者の属性

区分	NO	質問文	回答欄
回答者	25		氏名
	26		所属部署
	27		役職
	28	このアンケート調査にご回答いただいた方のご氏名、ご所属、お役職、連絡先について、ご記入ください	連絡先(e-mail)
	29		連絡先(電話)